

# 西梅田サンケイビル（ホテルインターゲート大阪 梅田）

「最高の朝」を届ける都市型環境配慮ホテル

## 建物概要

- 所在地：大阪市北区梅田2丁目
- 建築主：株式会社サンケイビル、不二鉦材株式会社
- 設計者：株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所
- 用途：ホテル、事務所、物販、駐車場
- 敷地面積：1,738.29㎡
- 建築面積：1,045.83㎡
- 延べ面積：16,743.96㎡
- 構造：鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
- 階数：地上18階/地下1階
- CASBEE評価：Aランク/BEE値1.6
- 重点評価：CO<sub>2</sub>削減4.0/みどり・ヒートアイランド対策3.0/建物の断熱性能4.0/エネルギー削減4.0/自然エネルギー直接利用3.0



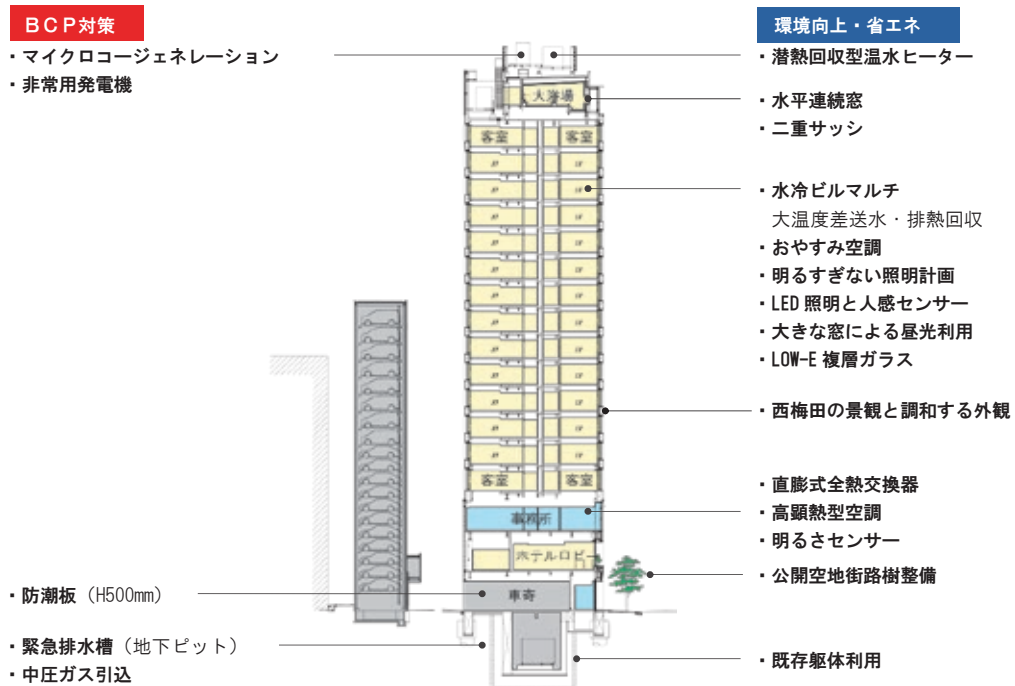
## 【立地、周辺環境】

国道2号線沿いの敷地で、南東の角は交差点にあたる。沿道はオフィスや商業施設などの業務・商業施設が並び、近隣には西梅田地区を代表する大型施設（フリーゼタワー、ハービス OSAKA 等）が建つ。この地区は、平成以降、オオサカガーデンシティとして開発がすすめられ、高層ビル群が形成され、現在も多くの人で賑わう。

## 【総合的なコンセプト】

- ① 最高の朝：「All For Tomorrow」～「最高の朝」をお届けするホテル～がインターゲートホテルズコンセプトであり、建築空間もこれに寄与するようにした。大きな窓から入る朝の陽光に満たされた客室でゆっくり過ごせるよう、「Stay with Windows」を建築コンセプトとした。窓を通して外部の環境（景色や太陽光）を取り込み、都市での滞在を存分に楽しむことができるようにした。設備においても「おやすみ空調」などを導入し、利用者の居住性の向上を図った。
- ② 地域への環境貢献：2階ロビーまわりの植栽によって街の喧騒と程よい距離感をつくりつつ、歩道状公開空地の街路樹と共に西梅田の更なる魅力向上も図った。
- ③ BCP：高い省エネルギー性能を確保し、環境に配慮したうえで、災害時には帰宅困難者の受け入れも可能となるようBCP対策にも力を入れた。

## 建物断面構成図



「最高の朝」を提供し、環境・BCPに配慮した施設計画

環境配慮事項とねらい

「最高の朝をお届けする」ための取組み

- ・客室内の空間の居心地に配慮し、大きな窓から取り入れた光が客室内の奥まで“影なく”届くように柱梁型のない空間を実現。
  - ・窓は最大限の大きさを確保したうえで、Low-E複層ガラスを採用。
  - ・外周部躯体を扁平PCa柱梁とし、柱梁型のないすっきりとした空間。
  - ・客室内の天井も梁スパンを調整し梁型による段差をなくした。
- ・最高の睡眠をお届けする空調・照明計画
  - ・「最高の朝」を迎えるために不可欠な「最高の睡眠」を生体リズムに合わせた空調・照明制御にて提供。
  - ・空調は快眠制御「おやすみ空調」によって睡眠中の温度管理も行う。
  - ・客室廊下・ロビー・レストランには、時間帯に合わせた調光制御。
- ・朝日が空間全体に広がる水平連続窓のある大浴場。
  - ・視線制御及び日射負荷低減のため、2重サッシ+半透明フィルム。

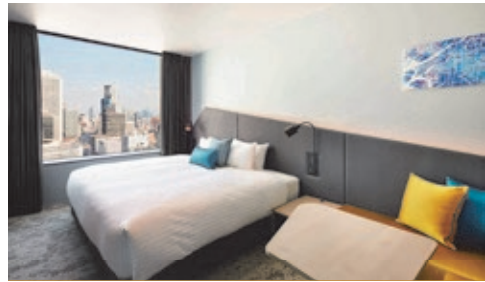


図-1 光が奥まで届く客室

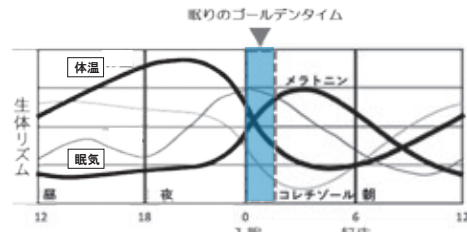


図-2 体温と眠気に関する生体リズム

省エネルギーと環境負荷低減

(BELS認証★★★★★「ZEB Oriented」)

- ・省エネの取組によって、BELS認証★★★★★“ZEB Oriented”を取得。
  - ・本建物用途において、エネルギー消費量31%削減の認証を取得。
- ・全館LED照明を導入し、“明るすぎない”適正な照明計画により消費電力を削減。
- ・ホテル客室、ロビー、オフィスをはじめフルハイトの窓高さを確保。
  - ・大きな窓による屋光利用の促進、昼間照明電力の削減。
- ・水冷ビルマルチの冷暖同時運転では、熱回収により排熱を有効利用。熱源水の大温度差送水により搬送動力低減。
- ・既存建物の地下構造体を山留めとして再利用し、廃棄物及び新設構造物の発生量を低減。

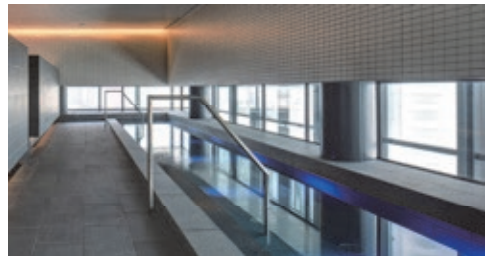


図-3 朝には窓からの陽光でリフレッシュできる大浴場

BCP対策

- ・非常用発電機及びマイクロコージェネレーション、緊急排水槽（3日分）を導入し、災害時にも停止しない施設。
  - ・災害時の帰宅困難者受入施設として、充電用電源、大浴場シャワー、ロビーの冷暖房、トイレの提供が可能
  - ・「社会経済活動の維持に資する天然ガス利用設備導入支援事業費補助金」事業にて採択。
- ・大地震時にも十分耐えられる信頼性の高い中圧ガスを引込み。
- ・防潮板を建物の入口に設置し内水氾濫時の浸水防止。（高さ50cm）

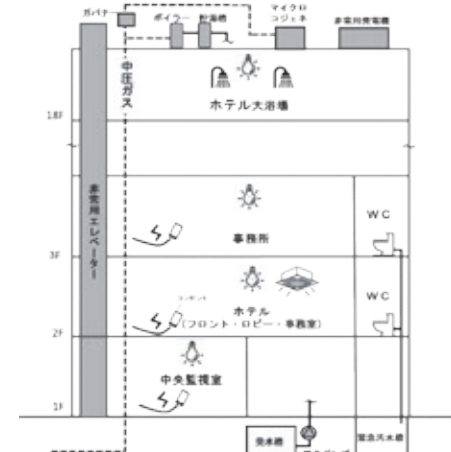


図-4 BCP対策概念図

地域の環境貢献

- ・空調に水冷ビルマルチを採用し、ヒートアイランド現象を抑制。
- ・歩道状公開空地による歩道空間を新設し、国道二号から大阪駅前へと向かう歩行者のアクセスを向上。
- ・歩道の街路樹や緑地帯、2階バルコニーの植栽など積極的に設置。
  - ・歩行空間にやわらかい影を落とし、来訪者が歩きやすい外部空間。
  - ・2階バルコニーの植栽バルコニーを通して、街の喧騒から程よく距離を確保でき落ち着いた雰囲気のあるロビー。
- ・西梅田の景観と調和する、シンプルな格子による白い外観と大きな窓。
  - ・西梅田エリアの景観の特徴としてあげられる、白を基調とした彫りの深いファサードを踏襲し、周囲との調和を図られた外観。
- ・既存躯体利用による解体時の斫りなどによる騒音の低減。



図-5 マイクロコージェネレーションと非常用発電機



図-7 街路樹や植栽による木陰のある歩道空間



図-6 植栽に囲まれ落ち着いたロビー空間